

# JavaScript研修

jQuery編

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

HTMLの場合は、placeholderを使いますが、  
JS版でも作成できるようにします。



ポイント

- ・フォーム要素の取得
- ・フォーム要素の書き換え

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### HTML

```
<input type="text" class="focus" value="お名前を入力してください">
```

### CSS

```
input { /* 入力エリアのCSSを自由に */ }
```

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### JavaScript

```
$(function () {  
    $( 1 ). 2 (function () {  
        if( 3 ) {  
            $( 4 ).val( 5 ).css( 6 );  
        }  
    });  
    $( 7 ). 8 (function () {  
        if( 9 ) {  
            $( 10 ).val( 11 ).css( 12 );  
        }  
    });  
});
```

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

- JSを発生させるタイミング

- 入力ボックスがフォーカスれたとき、外れたとき

- どんな風に変えるか？ → フォームの中身を消す／表示する

- 具体的には？ → `value`の値を表示／非表示にする

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### 【復習】

- `.focus(関数)`

要素にフォーカスされたとき関数を実行

- `.blur(関数)`

要素からフォーカスが外れたとき関数を実行

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### ● `.val(valueの中身)`

value要素を取得する

(input type="text" でも、input type="radio" でも全ての要素に対してOK)

(例)

```
$( '#form' ).val( 'こんにちは！' );
```

ID名formの中で、value="こんにちは！"となっている要素を取得する

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### 【復習】

● `.css( '何を', 'どうするか' );`

CSSを変更する

(例)

```
.css( 'color', '#000' );    /* 文字色を#000にする */
```

```
.css( 'height', '20px' );  /* 高さを20pxにする */
```



## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### ● if(条件式) {処理内容}

分岐を考える……

①「テキストボックスのvalueの値が**あれば**」→「valueの**値を消す**」

②「テキストボックスのvalueの値が**なければ**」→「valueの**値に**’お名前を入力してください’を表示させる」

↑

これを .css() を使って実行する

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### ● 練習問題1

今回の例題では、フォームに何か入力した後、フォーカスを外しても  
枠線に色がついたままです。

フォーカスを外したら、枠線の色は抑えるように  
プログラムを変更してください。

## 9. フォーム要素をフォーカスで消す

### ● 練習問題2

例題、練習問題1を改良して、

名前を入力した後にボタンをクリックすると、

ポップアップで入力した名前が表示されるように変更してください。